

ハイポン90モイスタックS (低温用)

超厚膜形エポキシ樹脂塗料

3-116EAN-00-01

製品使用説明書

特 長

- ・スプレー塗装が可能です。(但し特殊エアレス塗装機を使用してください。)
- ・エアレス1回塗りで1000μm以上(標準膜厚 2回塗りで2000μm)の厚塗り塗装が可能です。
- ・厚膜塗装によって外部からの腐食性物質の侵入を防ぎます。
- ・海洋構造物・棧橋・橋脚・シーパースなど水中部の厳しい環境のもとでも長期防食性が期待できます。

塗料性状

		塗料液	硬化剤
色		グレー(混合前:黒),ライトグレー(混合前:黒緑)	白色
密度(g/cm ³)(23)		1.32(グレー混合塗料)	
光沢		半つや	
引火点		97	99
発火点		480(参考値)	436(参考値)
消防法表示	化学名	合成樹脂エナメル塗料	合成樹脂エナメル塗料
	危険物区分	指定可燃物・液体	指定可燃物・液体
	危険物等級	- (火気厳禁)	- (火気厳禁)
有機溶剤区分		なし	なし
毒劇物表示		-	-
有害物表示		エポキシ樹脂	ポリアミドアミン 変性脂環式ポリアミン 変性脂肪族ポリアミン
国連/指針番号		- /128	- /128
環境性能	ホルムアルデヒド	配合せず	配合せず
	キシレン	0.8%	配合せず
	トルエン	配合せず	0.4%
	スルホン(モノ)	配合せず	配合せず
	フタル酸ジ-n-ブチル	配合せず	配合せず
ダイジン	配合せず	配合せず	
フェノール	配合せず	配合せず	配合せず
鉛	配合せず	4%	

・加熱残分(%) : 95(グレー混合塗料)

塗装基準

下地調整:

- ・プラスト処理によりISO Sa2 1/2まで除錆してください。下塗りとして有機ジンクリッチプライマーを塗装してください。
- ・被塗面に付着したダスト・海塩粒子・水分・油そのほかの異質物を清掃し、清浄ケレンしてください。

混合:

2液形のため、「塗料液:硬化剤=2:1(重量比)」に混合し、十分にかくはんしてください。

荷姿:

21kgセット(塗料液:硬化剤=14kg:7kg)

ポットライフ:

1時間(5)、50分(10)、30分(23)

希釈剤:

ハイポンエポキシワ[一般用]、ハイポンエポキシワ-W[冬用]

塗装方法:

塗装方法	特殊エアレス	特殊エアレス	硬質はけ、へら
希釈率	0~3%	0~3%	0~3%
使用量	2.20kg/m ² /回	2.75kg/m ² /回	1.60kg/m ² /回
膜厚(ドライ)	1000μm/回	1250μm/回	800μm/回
膜厚(ウェット)	1100μm/回	1375μm/回	900μm/回

- ・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- ・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。
- ・標準膜厚は2000μm、特殊エアレススプレー塗装にて1000μm/回×2回となります。
- ・<港湾構造物塗装防食・補修マニュアル IM-HE塗装系>に準拠する場合は、標準膜厚2500μm、特殊エアレススプレー塗装にて1250μm/回×2回となります。

乾燥時間:

	5	23	30
指触乾燥	6時間	3時間	-
半硬化乾燥	16時間	10時間	-
塗り重ね乾燥	24時間以上10日以内	16時間以上7日以内	-

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

注意事項

- ・塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上、また換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
 - ・ウェットフィルムゲージでウェット膜厚を管理しながら塗装してください。
 - ・ポットライフが短いため、塗装時の気温には十分注意してください。温度が高くなると、更に短くなりますので十分に注意してください。
 - ・ハイボン90モイスタックSは、一般用と低温用がございます。一般用：10～35℃、低温用：5～15℃の環境温度を参考に使い分けてください。
 - ・養生材は塗膜の強度に負けない硬質なもの（ガムテープ以上の硬質なものを）を使用してください。
 - ・塗装後、望ましくは当日、遅くとも翌日までに施した養生テープを撤去してください。養生テープは必ず、各工程ごとに養生剥がし、再養生を実施してください。（特に夏季、炎天下での塗膜硬化速度に注意する。塗膜が硬化した後の養生撤去は困難かつ撤去効率が非常に低下する。）
 - ・大気部など耐候性が必要な場合は、必ず中塗り塗料（エポキシ系）を塗装後、上塗り塗料を塗装してください。中塗り塗料（ウレタン系）や上塗り塗料を直接塗装すると、塗膜剥離の原因になります。
 - ・塗装後短期のうちに、降雨や結露など、水分の影響を受けると白化することがあり、このような白化面にそのまま塗り重ねると層間付着性が悪く、はく離するおそれがありますので、ペーパー掛け、シンナー拭きなどで白化した層を除去してください。
 - ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
 - ・皮膚かぶれを生じやすいので、保護具を使用し、直接皮膚につかない様にしてください。
 - ・作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
 - ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品安全に関する詳細な内容は安全データシート（SDS）をご参照ください。

本書類の内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。